

給与の比較【市長】

平成26年4月1日現在

	月額ベース				期末手当	年額ベース	
	給料 (円)	地域 (%)	合計 (円)	順位		合計 (円)	順位
大阪市	1,420,000	10	1,562,000	3	7,403,880	26,147,880	3
札幌市	1,280,000	3	1,318,400	12	5,611,136	21,431,936	14
仙台市	1,310,000	6	1,388,600	9	5,742,647	22,405,847	10
さいたま市	1,243,000	12	1,392,160	8	5,844,958	22,550,878	9
千葉市	1,190,000	10	1,309,000	13	6,204,660	21,912,660	12
横浜市	1,428,000	12	1,599,360	2	7,676,927	26,869,247	1
川崎市	1,250,000	12	1,400,000	7	5,877,875	22,677,875	7
相模原市	1,142,000	9.5	1,250,490	16	5,268,523	20,274,403	17
新潟市	1,163,000	0	1,163,000	19	4,117,020	18,133,020	19
静岡市	1,250,000	0	1,250,000	17	5,850,000	20,850,000	15
浜松市	1,277,000	0	1,277,000	15	5,344,245	20,668,245	16
名古屋市	1,467,000	10	1,613,700	1	6,794,410	26,158,810	2
京都市	1,390,000	10	1,529,000	5	6,437,785	24,785,785	5
堺市	1,190,000	10	1,309,000	13	6,204,660	21,912,660	12
神戸市	1,410,000	10	1,551,000	4	7,258,680	25,870,680	4
岡山市	1,160,000	2.9	1,193,640	18	5,657,853	19,981,533	18
広島市	1,310,000	3	1,349,300	11	6,395,682	22,587,282	8
北九州市	1,340,000	3	1,380,200	10	5,677,446	22,239,846	11
福岡市	1,300,000	10	1,430,000	6	6,020,950	23,180,950	6
熊本市	1,132,000	0	1,132,000	20	4,007,280	17,591,280	20
大阪府	1,310,000	0	1,310,000	—	6,052,200	21,772,200	—

給与の比較【副市長】

平成26年4月1日現在

	月額ベース				期末手当	年額ベース	
	給料 (円)	地域 (%)	合計 (円)	順位		合計 (円)	順位
大阪市	1,130,000	10	1,243,000	2	5,891,820	20,807,820	2
札幌市	1,030,000	3	1,060,900	13	4,515,211	17,246,011	14
仙台市	1,020,000	6	1,081,200	12	4,471,374	17,445,774	13
さいたま市	977,000	12	1,094,240	8	4,594,146	17,725,026	10
千葉市	960,000	10	1,056,000	14	5,005,440	17,677,440	11
横浜市	1,148,000	12	1,285,760	1	6,171,647	21,600,767	1
川崎市	990,000	12	1,108,800	7	4,655,277	17,960,877	9
相模原市	935,000	9.5	1,023,825	15	4,313,903	16,599,803	15
新潟市	939,000	0	939,000	18	3,324,060	14,592,060	19
静岡市	940,000	0	940,000	17	4,399,200	15,679,200	17
浜松市	928,000	0	928,000	19	3,883,680	15,019,680	18
名古屋市	1,100,000	10	1,210,000	4	5,094,650	19,614,650	4
京都市	1,100,000	10	1,210,000	4	5,094,650	19,614,650	4
堺市	990,000	10	1,089,000	10	5,161,860	18,229,860	7
神戸市	1,110,000	10	1,221,000	3	5,714,280	20,366,280	3
岡山市	920,000	2.9	946,680	16	4,487,262	15,847,422	16
広島市	1,050,000	3	1,081,500	11	5,126,310	18,104,310	8
北九州市	1,060,000	3	1,091,800	9	4,491,114	17,592,714	12
福岡市	1,040,000	10	1,144,000	6	4,816,760	18,544,760	6
熊本市	883,000	0	883,000	20	3,125,820	13,721,820	20
大阪府	1,030,000	0	1,030,000	—	4,758,600	17,118,600	—

市長・副市長の退職手当

1 算出方法

$$\text{給料月額} \times \text{在職月数} \times \text{支給割合} = \text{退職手当額}$$

2 任期満了時の退職手当額

【市長】

$$1,420,000 \text{ 円} \times 48 \text{ 月} \times 58/100 = 39,532,800 \text{ 円}$$

【副市長】

$$1,130,000 \text{ 円} \times 48 \text{ 月} \times 47/100 = 25,492,800 \text{ 円}$$

市長・副市長の退職手当の改定経過及び性格

1 改定経過

改正日	支給基準
昭和 61 年 12 月以前	・ 一般職と同様に算出した額＋退職慰労金（議決事項）
昭和 61 年 12 月 24 日	・ 現行の算出方法に改正 ・ 支給割合：市長；65/100、副市長（助役）；55/100
平成 23 年 10 月 3 日	・ 報酬審の答申を受けて、支給割合の引き下げ ・ 市長；65/100 → 58/100、副市長；55/100 → 47/100

2 性格【参考：「公務員の退職手当法詳解」（学陽書房）（抄）】

○ 民間企業における退職金の性格について

一般的な見解として、勤続報償説、賃金後払説、生活保障説の三つがある。

- ◆ 勤続報償説：退職金をもって長期勤続又は在職中の功績・功労に対する報償であるとする考え方
- ◆ 賃金後払説：労働者が在職中に当然受け取るべきであった賃金部分を退職に際して受け取るものであるとする考え方
- ◆ 生活保障説：退職後の生活を保障するために支払われる給付であるとする考え方

○ 国家公務員の退職手当の性格について

勤続報償的、生活保障的、賃金後払い的な性格をそれぞれ有し、これらの要素が不可分的に混合しているものであるが、基本的には、職員が長期間継続勤務して退職する場合の勤続報償としての要素が強いものと理解してよいであろう。

退職手当の比較【市長】

平成26年4月1日現在

都市名	給料月額 (円)	支給割合	任期满了時	
			退職手当の額	順位
大阪市	1,420,000	0.58	39,532,800	4
札幌市	1,280,000	0.49	30,105,600	16
仙台市	1,310,000	0.60	37,728,000	6
さいたま市	1,243,000	0.60	35,798,400	7
千葉市	1,190,000	0.58	33,129,600	11
横浜市	1,428,000	0.52	35,642,880	8
川崎市	1,250,000	0.52	31,200,000	13
相模原市	1,142,000	0.4※ (年数×4.8)	21,926,400	19
新潟市	1,163,000	0.56	31,261,440	12
静岡市	1,250,000	0.40	24,000,000	18
浜松市	1,277,000	定額	20,000,000	20
名古屋市	1,467,000	0.60	42,249,600	1
京都市	1,390,000	0.53	35,361,600	9
堺市	1,190,000	0.50	28,560,000	17
神戸市	1,410,000	0.62	41,961,600	2
岡山市	1,160,000	0.55	30,624,000	15
広島市	1,310,000	0.65	40,872,000	3
北九州市	1,340,000	0.60	38,592,000	5
福岡市	1,300,000	0.50	31,200,000	13
熊本市	1,132,000	0.61	33,144,960	10
大阪府	1,310,000	0.20	12,576,000	—

退職手当の比較【副市長】

平成26年4月1日現在

都市名	給料月額 (円)	支給割合	任期满了時	
			退職手当の額	順位
大阪市	1,130,000	0.47	25,492,800	2
札幌市	1,030,000	0.39	19,281,600	9
仙台市	1,020,000	0.40	19,584,000	8
さいたま市	977,000	0.40	18,758,400	11
千葉市	960,000	0.40	18,432,000	12
横浜市	1,148,000	0.40	22,041,600	6
川崎市	990,000	0.38	18,057,600	13
相模原市	935,000	0.3※ (年数×3.6)	13,464,000	17
新潟市	939,000	0.37	16,676,640	15
静岡市	940,000	0.25	11,280,000	19
浜松市	928,000	定額	10,000,000	20
名古屋市	1,100,000	0.45	23,760,000	3
京都市	1,100,000	0.41	21,648,000	7
堺市	990,000	0.36	17,107,200	14
神戸市	1,110,000	0.50	26,640,000	1
岡山市	920,000	0.30	13,248,000	18
広島市	1,050,000	0.47	23,688,000	4
北九州市	1,060,000	0.45	22,896,000	5
福岡市	1,040,000	0.38	18,969,600	10
熊本市	883,000	0.35	14,834,400	16
大阪府	1,030,000	0.20	9,888,000	—

(参考) 特別職国家公務員の退職手当の例

- ◆ 最高裁判所長官(裁判官の報酬等に関する法律、最高裁判所裁判官退職手当特例法)

$$\begin{aligned} & \text{報酬額} \times \text{在職年数に応じた支給率} \\ & = 2,050,000 \text{ 円} \times 2.4 \times 4 \text{ 年} \\ & = 19,680,000 \text{ 円} \end{aligned}$$

※在職期間を4年と仮定したもの